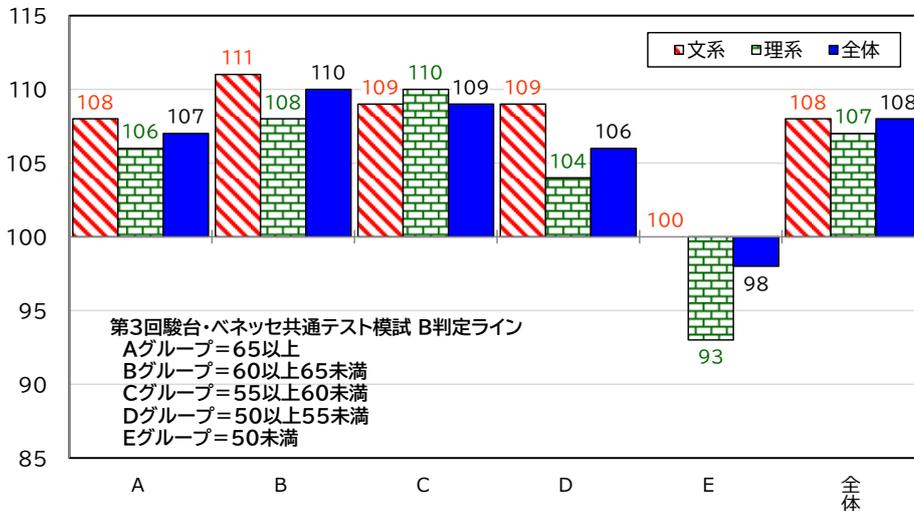


※本文中の()内の数値は、志願者数の前年度対比指数を表します。

◎模試合格判定ライングループ別志願状況

□文系ではAグループ、Bグループ、Cグループ、Dグループは増加
理系ではBグループ、Cグループは増加



左のグラフは、私立大158大学の一般選抜の志願者数集計において、2024年度第3回駿台・ベネッセ共通テスト模試の合格判定ライン(B判定ライン)を基にして、学部単位(医学科は別集計)で5つのグループ(上位Aグループ~下位Eグループ)に分類し、各グループの志願者数合計の前年度対比指数を示したものです。

文理別の全体では、文系(108)は増加、理系(107)はやや増加です。

グループ別では、文系ではBグループ(111)、Cグループ(109)、Dグループ(109)、Aグループ(108)はいずれも増加となっています。

一方で、理系ではCグループ(110)、Bグループ(108)はいずれも増加、Aグループ(106)、Dグループ(104)はいずれもやや増加となっています。Cグループは東京電機大、千葉工業大の増加が影響しています。

文系理系とも、最難関のAグループよりB・Cグループが増加していることから、やや安全志向が見受けられます。なお、Eグループは発表大学数が少ないため、今後数値が大きく変更となることがあります。